

新しい茨城 わたしたちの地域のための

日本語支援 を考える会



茨城に暮らす外国人が増えてきています。
同じ地域に住む外国人、職場の同僚となる外国人と、
日本語でどんなコミュニケーションをとっていけばよいでしょうか？
きっかけをつくるための具体的なアクションについて考えます。

連続講座 各回の日程と内容（予定）

- 第1回 1/18(火), 21(金) 私のまちの多文化共生
—外国人も地域の仲間なのだ—
- 第2回 1/25(火), 28(金) 伝わる日本語で交流しよう
—「やさしい日本語」と「聴く・待つ」—
- 第3回 2/1(火), 4(金) 外国人と話してみよう
—「おしゃべり」は学び合い—
- 第4回 2/8(火), 11(金) 交流のための活動をデザインしてみよう①
—グループで考える活動案—
- 第5回 2/15(火), 18(金) 交流のための活動をデザインしてみよう②
—さあ、スタート！私たちのまちでも—

時間 各回19:00-20:30 ※初回1/18(火)のみ終了20:45

※Zoomオンライン開催：参加者個人でパソコンやタブレット等の
視聴機器及びインターネット接続環境が必要です。

令和3年度茨城県「地域日本語教育の体制づくり事業」（文化庁採択）

主催：茨城県、(公財)茨城県国際交流協会



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

現在、茨城県には約7万人の外国人が暮らしています。
それは、全国でも10番目の多さです。
今後、外国人はますます増えていくと予想されています。
そして、外国人も茨城でいっしょに生活する市民です。
しかし、日本人と外国人が「交流できる場所」が茨城県内にどれだけあるでしょうか？
この講座では、多文化共生や日本語支援に興味がある方を対象に、
外国人と日本語で楽しくコミュニケーションできる実践的内容を多く盛り込んでいます。
茨城県・茨城県国際交流協会が共生社会のあり方を本気で考えています。
「新しい茨城」の多文化共生の地域づくりをいっしょに考える仲間を求めています。

対象：以下①～③のいずれかの方。

- ①茨城県に在住・在勤・在学等で、県内で地域日本語教室の立ち上げ、その後の交流活動等に参加できる方
- ②外国人市民との交流を希望する茨城県民
- ③茨城県内ですでに実践している日本語学習支援者（日本語ボランティア教室のボランティアの方など）

※未経験者歓迎

※市町村職員（多文化共生担当等）、外国人材受入企業の方もお待ちしております。

受講料・資料代：無料（インターネット接続料等は参加者自己負担となります。）

定員：20名程度（原則全日程を通して参加可能な方優先、定員を超えた場合選考。）

※8割以上出席した方には弘道館アカデミー修了証を発行予定です。

申込締切：1月10日（月）正午

ご注意事項

- ・本講座は録画し、当協会、講師、文化庁補助事業の内部関係者と共有させていただきます。（外部への公開は一切いたしません）
- ・配布資料の2次利用、パソコン画面の撮影等は、著作権・肖像権保護のため禁止いたします。

参加申込票

記入後FAX029-241-7611に送信。またはiia@ia-ibaraki.or.jpに以下内容をメールしてください。

氏名（ふりがな）：（ ）

住所（ ）

電話番号（ ）

メールアドレス（ ）

年齢（○で囲む）：20代以下 ・ 30代～50代 ・ 60代以上

所属団体等（ボランティア日本語教室等、あれば）
（ ）

日本語学習支援経験等（例：経験なし、ボランティア教室で約10年、等）
（ ）

ご注意事項（○で囲む）： 同意します ・ 同意しません

Zoom経験（○で囲む）： ホストとして ・ 参加者として ・ 使ったことがない

備考欄（連絡事項等があればお書きください）